

学術委員会研究活性化小委員会主催

第2回入門セミナー「あなたの貴重な症例を英文で発信するために」報告

開催日時：平成27年10月4日（日）13：00～17：00

開催場所：クロスウェーブ・梅田

（所在地）大阪府大阪市北区神山町1-12

参加費：5,000円

参加者数：24名

プログラム内容：

今回の第2回入門セミナー「あなたの貴重な症例を英文で発信するために」は下記の内容で行われた。

1. 開会のあいさつ 五十嵐隆

これまでの経験にもとづいて、症例報告から病気の原因を見つけるに至ることも十分可能であり、いかに症例報告を書いていくか、どのようにモチベーションをもっていくか、症例報告を英文で発信して行くことが、いかに大切かを語っていただいた。

2. イントロダクション 小崎健次郎

日本小児遺伝学会では、一例の症例に対して、施設を超えた学会の経験者からのアドバイスをもとに、論文作成の支援を行っている。日本小児科学会においても、同様の取り組みを本セミナーで行うことになったと説明があった。さらに、論文を書く際の具体的な文章の構成方法、ルールなどの説明があった。

3. 症例1 プレゼンター：興梠健作、アドバイザー：小崎健次郎

症例2 プレゼンター：奥田雄介、アドバイザー：石倉健司

学会発表で行われる症例報告から、論文を書いて投稿し、査読者に指摘された点にどのように答えるか、添削のプロセスが示された。

4. 統計 下川敏雄

データの要約の仕方、標準偏差、標準誤差など基礎的な統計の手法の説明があった。

5. 文献・データベース検索 高木正稔

PubMedを中心として、論文を書くのに必要なデータベースの検索方法、収集したデータの整理方法の説明があった。

6. 留学体験談 野津寛大

どのように留学へ結びつけるか、CVの書き方から、実際の留学に至った経緯について、経験をもとに説明があった。

本研究会のアウトカム：

本研究会の目的は、若手医師が症例報告を英文で書くスキルを身に着けることである。前回、2月に東京で行われたセミナーと同一の内容ではあるが、前回、症例報告をしてもらった興梠および奥田の症例は今回のセミナーまでに論文化され、前回のセミナーでのアドバイスが非常に役立ったことが報告された。

文責：高木正稔（東京医科歯科大学）